



2017年1月30日

福島県生活環境部環境共生課 御中

MST 一般財団法人材料科学技術振興財団

分析評価部

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見1-18-6

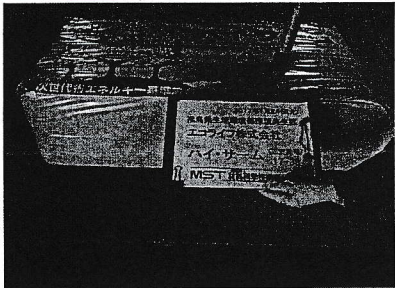
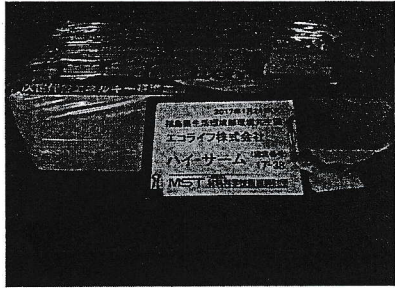
TEL 03-3749-2525 FAX 03-3749-4567

URL <http://www.mst.or.jp/>

測定結果報告書

MST-16-545063-1

放射線測定結果は次の通りです。

品 名 (寸法)	ハイ・サーム (認定番号)17-38 (高さ 270 mm × 幅 950 mm × 奥行 440 mm)	
測 定 日	2017 年 1 月 24 日 (火)	
測定場所	エコライフ株式会社 工場内	
測定項目 (単位)	ガンマ放射線量率 ($\mu\text{Sv/h}$: マイクロシーベルト毎時)	ベータ放射能表面密度 (Bq/cm^2 : ベクレル毎平方センチメートル)
測 定 器	NaI (Tl) シンチレーション式サーベイメータ (富士電機 NHC710B1-AYYYY-S/R1L1302T) 校正年月日: 2016 年 11 月 14 日 校正線源: セシウム-137	Si 半導体式サーベイメータ (富士電機 NHJ21241-YYYYY-S/1D4709T) 校正年月日: 2016 年 11 月 14 日 校正線源: 塩素-36
測定条件	測定方法: 直接測定法 時定数: 10秒	測定方法: 直接測定法 時定数: 10秒
測定結果	1. 測定値 ^{※1} 最大 $0.06 \mu\text{Sv/h}$ 最小 $0.04 \mu\text{Sv/h}$ 2. バックグラウンド(参考値) ^{※2} $0.06 \mu\text{Sv/h}$ (標準偏差 0.01)	1. 測定値 ^{※1, ※3} 最大 0.41 Bq/cm^2 最小 0.25 Bq/cm^2 2. バックグラウンド(参考値) ^{※2, ※3} 0.40 Bq/cm^2 (標準偏差 0.04)
測定状況		
結 果	バックグラウンドに対し、有意な放射線量(能)は検出されておられません	
備 考	※1 バックグラウンドを含む値、※2 測定対象以外からの放射線の測定値 ※3 ベータ放射能表面密度は放射性セシウム ¹³⁷ Cs由来として算出 注) 本測定結果は、測定状況に示す試料についてのみ有効	

本件についてのご質問は

分析評価部 高橋 圭佑 (k-takahashi@mst.or.jp)

までお問い合わせください。

本測定に関する情報につきましては守秘義務を厳守いたします。

承認

三
典
男
次

cpm (測定値) から Bq/cm²、μSv/h への換算例

cpm (測定値で バックグラウンドを差 し引いた値)	Bq/cm ²	μSv/h
0	0	0
10	0.04	0.0003
100	0.4	0.003
1,000	4	0.033
10,000	40	0.33
100,000	400	3.3

換算条件

計数率(cpm:測定値)は、校正されたプロカTGS-146Bまたは、TGS-133を用いて、ISO 7503-1の規格に従い試料から5mm程度の距離に特定数の3倍以上の時間幾何条件を一定に保ちつつ測定するよう、訓練を受けた要員により測定されていること。

線量率は、平らな試料の表面が、半径20 cmの円盤状に(ミカン箱の上面サイズ程度の面積)、Cs-137によって4Bq/cm²程度に一様に汚染されていると仮定し、表面から5 cm離れた位置の線量率値を計算した結果である。